

# 三事研広報 NO. 5



三重県公立小中学校事務研究会

平成22年3月4日

発行者 河村 尚記

編集責任者 山中 祐樹



## ご挨拶

早いもので今年度も残り僅かとなってまいりました。山のふもとの学校に勤めている私ですが、厳しい寒さにも関わらずほとんど雪が積もる事は無く、暖冬なんだなぁと感じずにはいられません。バンクーバー冬季オリンピックでは、日本勢が活躍し、たくさんの興奮・感動を与えてくれました。選手のパワーを励みにして、これからの多忙を極める異動の時期を乗り越えていきたいものですね。

## 第41回 東海地区公立小中学校事務研究大会 IN松阪



平成22年2月5日、待ちに待った東海松阪大会が松阪市民文化会館にて行われました！  
風が強く冷え込みの厳しい日ではありましたが晴天に恵まれ絶好の大会日和となりました。  
東海地区を中心に各地から1200名近い参加者がありました。大会関係者、特に松阪実行委員会の方々の熱意とチームワーク、おもてなしの心を感じた大会でした。

## 午前の部



開会式で主催者を代表して、河村会長は、参加されたみなさんへのお礼とともに、この大会が、子どもたちを笑顔にすることに努力し、学ぶことの楽しさを知ることのできる学校の実現に貢献されているみなさんの学びの機会、気づきの機会となりますようにとあいさつしました。

その後講演で呼び出した車椅子プロランナー 伊藤智也選手の講演は、参加者の興味を強く惹きつけ、北京パラリンピックからインドでの世界選手権の苦労話や裏話など普段ではなかなか聞くことの出来ない伊藤選手ならではの貴重なお話を聞かせていただきました。

引継会では松阪大会実行委員長 安村明さんの挨拶が行われ、また来年度開催される名古屋大会実行委員長 林敦子さんによる大会PRがありました。さまざまな名古屋の名物から観光名所の映像がつぎつぎと映し出され、来年度の大会への期待が大きく膨らむプレゼンテーションでした。

# 🎄 午後の部 🎄

## 第1分科会（静岡）



第1分科会では「しずおかコスモスプラン」という静岡県版学校事務グランドデザインについての実践研究発表が行われました。

スクールマネージャーを目指す中で学校財務を取り上げて、具体的な実践へと展開していく取り組みが発表されました。

学校財務事務にかかるネットワークを広げる為に校内では管理職や教務主任、組織として教育委員会や校長会、教頭会との連携が必須との説明がなされました。

後半では決められたグループでの名刺交換が行われました。県や市を越えた様々な意見の交流が見受けられ、会場全体が活発な議論の熱気に包まれていました。

## 第2分科会（愛知）



第2分科会では少経験者支援の取組発表が行われました。

知多支部では今後10年間の退職者と新規採用者の増加による世代交代が問題となりました。そのため、少経験者向けに重点を置いた「研修講座」の企画運営、職場研修支援のための「知多版 職場研修の手引」の作成、知識や情報の共有と継承のための「ホームページ」のリニューアル以上3つの支援策がとられました。

資質・能力の向上に欠かせない「自己啓発」「職場研修」を意識し積極的なチャレンジ精神を養う工夫がなされています。知多支部だけでなく学校事務全体の身近な危機として、学ぶべき事の多い実りある内容でした。

## 第3分科会（岐阜）



第3分科会では「外国人児童や保護者に優しい学校づくりをめざして」についての発表が行われました。

外国人児童生徒や保護者のためにはもちろんですが、教職員向けの「じむだより」の発信や、教育センターで教職員向けの多文化共生講座を事務職員が中心となり開催、学びの成果を事務職員から積極的に発信した事が全体へ貢献に繋がったとする発表でした。後半は、「パネル de トーク」が行われ、会場の参加者も質問に回答し、多文化共生について一緒に考えることができました。会場内の壁には様々な事例紹介ポスターが貼られ、ユニークな内容に見る者を飽きさせない工夫を凝らした分科会でした。

# 第4分科会（三重）



「子どもたちの学習する環境を整える学校事務」について具体的に取り組んでいる実践は何だろうか？「就学援助」を通して「子どもの学習権」を保障するため、どのように向き合い、どのように実践しているのかを3部形式で発表が行われました。

第1部「就学援助についての法制度の理解」、第2部「桑名市の就学援助制度の概要と就学援助事務の実際（Q&A）」について提案し、その後就学援助認定者が増えているという現状から、具体的な事務処理についてや集金未納者についての対応、民生委員との関わりについて等、たくさんの質問がありました。続いて第3部、「アンケートから見えてくるもの」では、事前に三重県内の事務職員に実施されたアンケートを元に提案が行われました。

その後「保護者への周知について」「個人情報の取り扱いについて」等の質問、意見交流を行い他市他県の参加者から各市町の現状・取組について紹介がなされました。

助言者からは「発表に向けて事務職員と市教育委員会が就学援助について一緒に考えることで関係が変わり、常に連携し情報を共有しあい就学援助を充実したものにしたい。」と事務職員と市教育委員会の連携の重要性を話されました。

## 分科会担当者より

たくさんの方の協力で、無事発表を終えることができました。今回のこの発表を受け、私たち学校事務職員が子どもたちにできること…を考え、日ごろの職務に生かしていきたいと思えます。

## 支部自慢

度会支部は玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町の4町から成り、22校23名の支部です。昨年度は、度会郡事務研究会の場を借りながら、それぞれの共同実施グループの力を結集して、『度会自慢』を県大会で発表させていただきました。老若男女がとても仲良く、まとまっている支部です。

4町を取り巻く環境は、山あり海ありとにかく自然がいっぱいです。自動車を運転しているとよく猿、鹿、猪、イタチ、狸たちに遭遇します。（もし走行中にぶつかって、車がへこんで自分もへこんでも、自分で直すしかありません・・・要注意！）

お勧めの特産物は、玉城町は豚肉、果物。度会町はお茶。大紀町は牛乳、乳製品、七保牛。南伊勢町はみかんなどの柑橘類と鰹、鯛などの魚貝類。四季を通して、いつ来ていただいてもおいしいものいっぱいです。ぜひお越しください。

